

八郷伝報

発行所

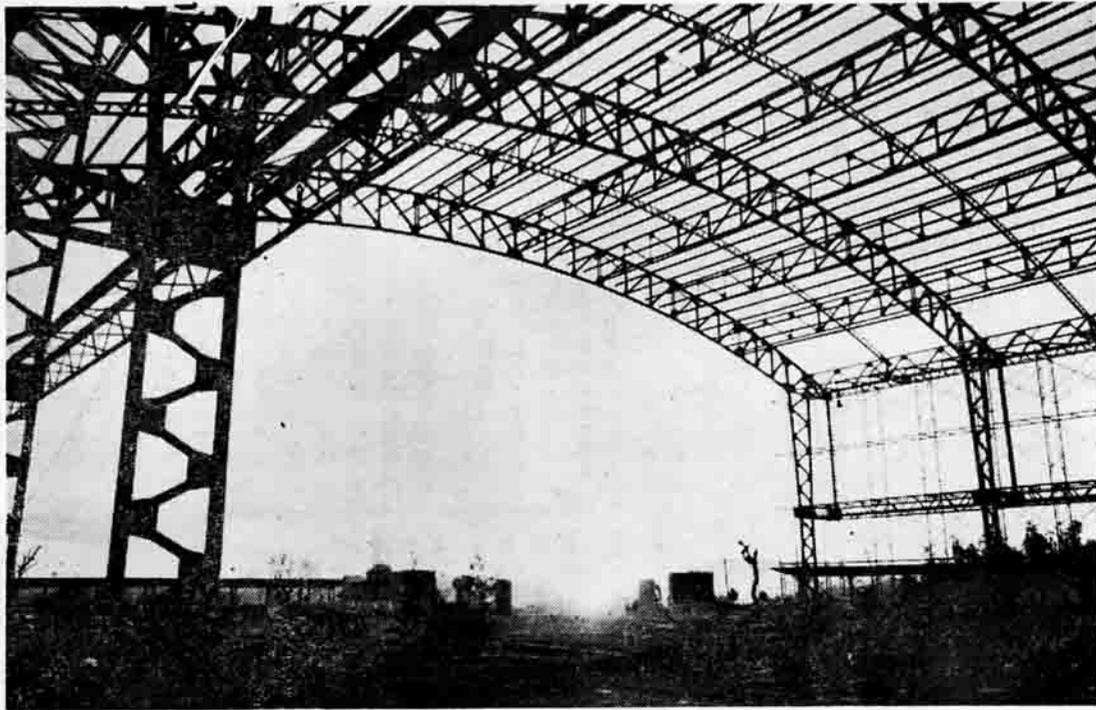
茨城県八郷町役場
発行責任者 岩本佳之
印刷所 やさと印刷所

町の人口

男 14,077
女 14,557
計 28,634
世帯数 5,719
(1月1日現在)

町民の皆さん明けましておめでとございます。ここに希望に燃ゆる新春を迎えるにあたり、皆様がたのしみ清福とご繁栄とを心からお祈り申し上げます。私は、昭和四十二年十二月町議会議員の一般選挙後招集された町議会においてはからず八郷町議会議長

賀 春



完成またれる柿岡中体育館

町民の皆さん、新年おめでとございます。年頭に於いて一言ごあいさつを申し上げます。昨年のはじめに、町は田園都市建設事業地域として県の指定を受けました。知事さんがわざわざおいでになつて町内を視察、私どもを激励して帰られました。この指定は将来とも工業

化都市化の見通しの少ない純農村的性格の強い町村が対象となつておりまして、農業開発を主軸としての町



町長 吉田次郎

づくりで、農業の生産を高めてゆく反面、私どもの生活をとりまく環境を良くする町づくりをすること

町づくりの先頭に立ち頑張る

す。そうした考えかたの上になつて町の産業、土木、教育、福祉、保健などの行政が町の実情にふさわしく

謝り上げざるを得ないです。今年は、田園都市建設の基本計画がまとまりましたので、いよいよ具体的な実施計画を策定する年であり、とくに、農業面については転換期にきている諸施策を国の段かいでどのように出されるのか、どのような型で町村までおろしてくるものなのか、諸般の実体を深く見詰め、あやまりのない判断を立てねばなりません。

組合わされ、町民の理解と協力の上に積み上げられていって、はじめて田園都市が実施されるわけです。昨年は、南、柿岡中の体育館、学校給食センターの建設、芦穂、恋瀬の公民館の改造、芦穂、瓦会保育所の新設、石岡柿岡間の県道舗装の完了、小見笠間線の改良着工、湯袋観光道路の整備、半田土地改良につづいて月岡地帯の改良事業の実施など、大きな事業を中心にあつた実績をあげました。このことは、議会その他の諸団体並びに町民の皆さんの町行政に対するご理解とご協力によって積み上げられたものと深く感

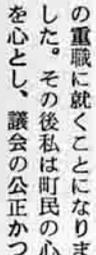
大過なく越年することができました。これとえに議会議員のご協力は申すに及ばず、町民の皆様がたの支援助力のためものと信じ、心から感謝申し上げます。かえりみまするに、八郷町は合併後十四年を経過し、すべての面で当時の面影はなく、近年進捗しつづいて、神が旺盛なこと、歴代町長の町政運営が適切であった結果であると信じていま

後多くの困難なる重要な問題が山積みしていると思えます。これらの諸問題の解決を図ることは、町政にたづなわれわれに課せられた責務であると信じます。国、県の施策指導と相まって町財政の許す範囲内において、町政に最大の効果があがるよう努力する覚悟でございます。本年は、八郷町躍進の年として町政全般にわたり、内容の充実を図るとともに、田園都市計画実施に精魂を傾け住みよい八郷町建設に努力する所存であります。年頭にあたり、所感の一端を申し上げます。

町民の皆さん、八郷町に住む誇りと自信をもって新しい年に踏み出していきたいと思います。私はその先頭に立ち頑張つてまいります。では皆さんにとりまして健康で幸せの多い年であり、ますようお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

住みよい八郷町の建設に努力

議長 桜井浩蔵



円満なる運営と町政の伸展を第一に誠心誠意努力してまいりました。お蔭様で

す。しかしながら、町民生活の安定を図るためには、今

教育委員に桜井、田山氏

一般会計 二千二百万円にのぼる 補正予算

昭和四十三年最後の第四回定例議会が十二月二十四日午前十時から役場議場で開かれ、六つの議案の可決と正、副議長の選任などが行なわれました。まず、専決事件の報告があつたあと、一般会計や特別会計の補正予算、二人の教育委員の選任など六つの議案が上程され、原案どおり可決されました。引き続き正、副議長及び常任委員会の委員の選任などが行なわれ、議長に現職の桜井浩蔵氏が再選され、副議長には原田孟氏が選ばれました。(三面に)

第4回定例議会

昭和三十四年最後の第四回定例議会が十二月二十四日午前十時から役場議場で開かれ、六つの議案の可決と正、副議長の選任などが行なわれました。まず、専決事件の報告があつたあと、一般会計や特別会計の補正予算、二人の教育委員の選任など六つの議案が上程され、原案どおり可決されました。引き続き正、副議長及び常任委員会の委員の選任などが行なわれ、議長に現職の桜井浩蔵氏が再選され、副議長には原田孟氏が選ばれました。(三面に)

歳入は保険金で百三十万円。歳出は家畜共済金で昨年度から家畜共済制度が大幅に改正され、利用度が非常に多くなったためです。簡易水道特別会計補正予算 補正額は、歳入、歳出とも十五万円です。教育委員を任命 教育委員の真家憲さんと坂野清さんの二人が、都合により辞任されたので、その後任として、大字小幡の桜井徳行さんと大字東成の田山明さんとの二人が議会の承認を受けて選任されました。今後の活躍を期待したいものです。

国民年金の改善で 意見書 百寿会連合会からの国民年金制度の改善に関する意見書の内容は ①給付水準の大幅な改善 ②中・高年齢者に対する年金対策の推進 ③国庫負担の大幅な増額 ④福祉年金の支給制限の撤廃ならびに年金額の引き上げ ⑤特別融資枠の拡大 以上のような理由によって、国民年金法をすみやかに改正し、真に国民が頼るに値する年金とするよう政府並びに国会に提出してほしいというもので、議会が可決し、請願することになった。

収入 町税、地方交付税、県支出金などで二千二百二十三万三千円 支出 交通安全対策施設工事請負代として十七万円 農業構造改善事業補助金に一千八百二十二万円 飼料作物増産対策事業補助金として百九万円 石岡台地土地改良協議会負担金の追加として七十二万円 稚蚕共同飼育所の晩秋蚕被害見舞金に九十七万円 道路舗装工事費として五百万円 公民館駐車場施設工事代として三十万円 以上がおおなもの。有線放送特別会計補正予算 歳入は繰越金、諸収入などで百一十六万円。歳出は

歳末たすけあい募金 目標額を越える

歳末たすけあい募金は、多くのかたがたの暖かいご協力をいただき、目標額を大きく超過して終了いたしました。みなさんからお寄せいただきましたお金のほか、町と社会福祉協議会をおしそれぞれのお恵みいただいたので、お礼をかねてお知らせいたします。

- ▽保護世帯(八五世帯) 一六三、〇〇〇円
- ▽老人ホーム入所者(五人) 二二、五〇〇円
- ▽結核療養所入所者(二人) 二、〇〇〇円
- ▽生活保護入院患者(四人) 二二、五〇〇円
- ▽心身障害児(四七人) 二二、五〇〇円
- ▽職親(一人) 四五〇円
- 配分金の合計額は、二二六、四五〇円です。

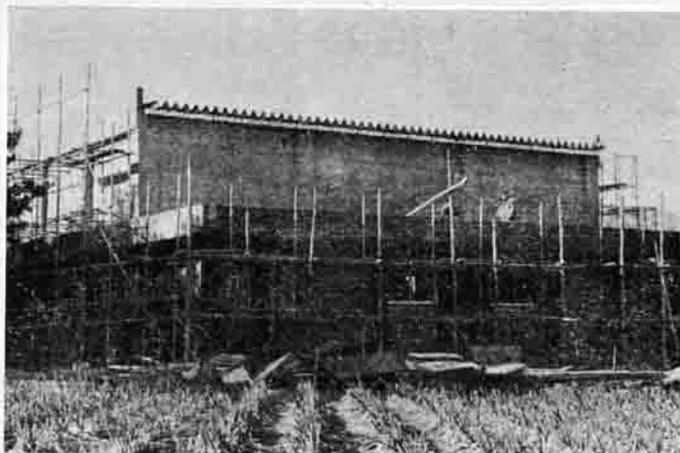
「自作農資金」 最高額を引き上げ 自作農資金は、農業経営規模の拡大や経営の改善にはたす役割が大きく、多くの農家に利用されています。貸付金のなかには、農地取得資金と維持資金とがありますが、農地取得資金の最高額がこれまでの百万円から二百万円に引き上げられました。また、利率三分五厘、償還期間二十五年はわかりませんが、三月から受け付けます。くわしいことは農業委員会事務局でおたづねください。



栄養素の比較表

種類	栄養素	熱 量	蛋白質	脂 肪	カルシウム	ビ タ ミ ン			
						A	B ₁	B ₂	C
米 (100g)		351	6.2	0.8	6	0	0.09	0.03	0
パン (90g)		353	10.9	4.3	38	424	0.67	0.34	0
牛乳 (1本)		110	5.4	6.1	186	223	0.07	0.28	4
みそ汁(とうふ汁)		66	4.9	1.8	82	99	0.05	0.07	9

いよいよ四月から、小、中学校の生徒を対象に完全給食を開始しますが、給食は、米食でなくパン食を中心に行ないたい。



最後の仕上げ急ぐ給食センター

完全給食は米食でなくパン食

完成間近い給食センター

きない栄養素です。このことは、上表の米食との比較で明らかのようにパンとミルクには非常に多く含まれています。

したがって、学校給食はパンとミルクを基本にしてそれに副食を添え、米食一辺倒の日本人の食生活改善に、役立ってきたわけですが、最近、よく「母の味」などといわれていますが、私たちの味覚は、いわゆる慣れた味を欲するものですが人間の生存のためには必要なカロリーと同時に栄養のバランスがきわめてたいせつです。

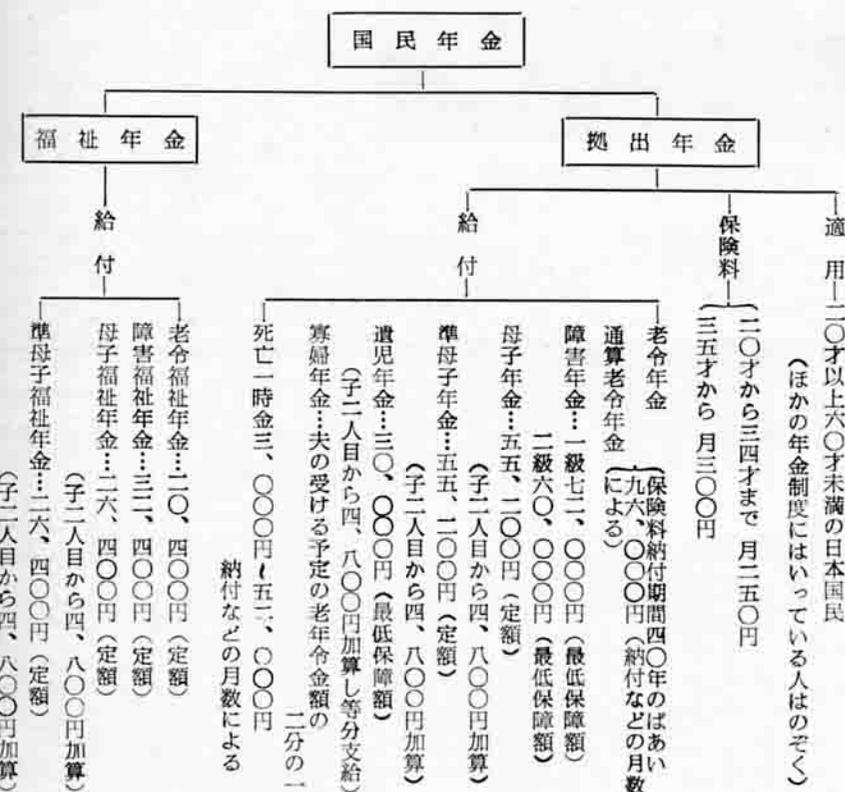
四月から、給食センターでは、そうした点に十分注意して、八郷の若人の体づくりに役立ちたいと準備をすすめています。

心にして行ないたい。それは、米食より、パン食のほうが、栄養が豊富でビタミンもたくさん含まれているからです。青少年は、身長の伸びるときや体重の増加するときに、あるリズムを描きながらどんどん発育していきます。そのためには、それに釣りあった栄養と刺激が必要となります。しかもそれは伸びつづるとときにこそ必要なもので、あとからでは間に合わぬことなのです。したがって、青少年には刺激として絶えず活発な運動と、運動するために、必要なエネルギーと発育のための栄養を欠くことができないわけですね。すなわち、蛋白質、脂肪、カルシウム、ビタミンB₂などが若い発育ざかりの青少年の体にはどうしても欠くことので

20才になると「国民年金」へ加入を

立派に成人されたことをお祝い申し上げます。さて、ご存じのように満二十才に達すると、選挙権を得るなど法律上の権利義務が発生しますが、すでに「国民皆年金時代」となったわが国では、原則としてこれでも「公的年金制度(厚生年金など)」のどれかに加入することが、法律の上で義務づけられています。もし、あなたが公的年金制度に加入していないときは、国民年金に加入しなければなりません。現在の国民年金のしくみは下表のようになっています。

国民年金のしくみ



(建設課)

建設課は、町道の改良工事や橋のかけかえ、修繕などを行なっています。また、建築物の届出や指導など町民の皆さんが日常生活にもっとも関係の深い土木全般の仕事を担当しています。おもな仕事

道路や橋の管理を担当

- ① 町道の改良と整備
 - ② 橋のかけかえや修繕
 - ③ 林道の開設
 - ④ 河川の災害復旧工事
 - ⑤ 建築物確認及び届出の指導
 - ⑥ 道路境界の確認及び道路占用の許可
 - ⑦ 町営住宅の管理と入居者相談
 - ⑧ 土木工事業の推進及び相談など
- 現在、町の道路は五、七三九路線、この延長は一、五四五、八九三メートル。橋は三三六カ所、延長一、一九三メートルとなっております。
- また、家を建てる場合柿岡地区は県知事指定の確認地域となっており、建築物確認申請書を出して許可を受けなければなりません。ほかの地区については「建築工事届」を建築する前に建設課を経由して出せばよいことになっています。
- 建設課には、監理係、工務係があり、職員は富田課長ほか一七名。

新しい民生委員決まる

生活などの相談にのります

新しい民生委員(児童委員もかねる)五〇名がこのほど決まりました。こんど選ばれた民生委員は、八郷町民生委員推せん会(委員一四名をもって構成)の推せんを受け、県の民生委員審査会の意見を聞いたうえで、厚生大臣に推せんし、厚生大臣から委嘱されたものです。

五〇名の民生委員は、今後三年間にわたり、平均約一〇世帯を担当して、住民の生活について、よい相談相手となる。保護を必要とする者(生活保護、児童保護などの保護指導にあたる。などのことから)について活躍してくれそうです。生活などで困っているかたは、進んで相談におかけください。

新しい民生委員

- 柿岡地区
 - 土田大恵 菊地政江
 - 滝田せき 小松きよ
 - 平 忠 滝田哲太郎
 - 飯田 薫
- 小幡地区
 - 小林平右衛門 高橋秀雄
 - 広瀬恒一郎 富田千代
 - 大橋藤吾 根本富美子
 - 塚谷源市
- 林地区
 - 高野庸之助 大木フサ
 - 吉川イソ 小林文雄
 - 久家泰明
 - 小松地区
 - 原田政徳 鴻巣久雄
 - 田上 政 上林近之助
 - 木村 直
- 園部地区
 - 菱沼芳子 深作みづい
 - 鶴井寛四郎 永井 要
 - 大槻寛之丞 大久保正雄
 - 野口せつ 須藤善一
- 白井地区
 - 白井 勝 藤代 遠
 - 田島恵子 金子りき
 - 中島定右衛門 荻部義延
 - 本岡桂一郎
- 恋瀬地区
 - 広瀬志保 塚田條一
 - 大岡 昇 岡野耕作
 - 三輪嘉望 海野まさ
 - 瓦会地区
 - 鈴木隆治 比企たま
 - 田島ひて 野村宗市郎
 - 鈴木藤寿



柿岡地域からの「市外通話」

1月21日から即時通話に

柿岡地域からの市外通話は、一月二十一日午後三時から石岡電報電話局で直接取扱いことになりました。

市外番号の案内、市外通話料を調べるなど、市外通話に関する取扱いには全部石岡局で行なうことになり、同時に全国約四、〇〇〇の都市へは待たずにつながら即時通話になります。市外申込みの方法などが次のように変わりますので、間違いないようにご注意ください。

▼市外申し込みの方法

①従来どおりに局を呼び出すと「市外」とつづくと石岡局の交換手が「市外です」

とでますから「柿岡局××番から〇〇局××番へ」と申し込みください。

②係が「そのままお待ちください」といいますら受話器を持ったままお待ちになると先方につながります。

▼料金を知りたいとき

市外申込みのさい「料金通知」とあわせてつけてください。話が終わると受話器をかけた後、料金通知を知らせる音が鳴ります。

▼料金通知の申し込みがない市外申し込みについては局からあらためて料金を知らせません。

▼柿岡局は〇二九九四三 全国の自動局から、柿岡

心配ごと相談日

2月5日	12日
19日	26日

陸・海・空 自衛官募集！

くわしいことは住民課でおたずねください

局までは、ダイヤル直通でかかれます。(半自動即時)あなたの名刺、看板など正しい電話番号の表示は、柿岡(〇二九九四三)××番と書きましよう。なお、即時通話は、申し込みと同時にすくつなると、至急、特急の区別はありません。



むだでない 「研究集会」

助役 岩 本 佳 之



今年も、公民館主催の郷土をよくする研究集会が各地区で開かれ、皆さんの直接の声を聞くことにより反省する点なども多く、たいへん参考になります。

研究集会では、年を追うごとに、意見の発表も活発になり、とくに婦人のそれが目立ってきたことは大きな前進であると思えます。また、立派な建設的意見などの発表によって、思わず胸を打たれるような場合がいくたびかあって、こうした集会のために費した時間と費用がむだではなかったと考えています。

ただ、この場合十分考えなくてはならない問題があります。それは、この集会の中で「毎年こうした集会を開いて同じことを町やそのほかに要望しているが完全には実施していない。だから、こんな集会是むだではないか」という意見が必ずといってよいほどでることである。

この研究集会は、地域の人たちが参加してどうすれば、住みよい地域とすることができるとかということであらゆる角度から討議すべきです。その結果として、個人が自ら努力すべきもの、部落として実施すべきもの、町や関係機関が担当すべきもの、あるいはそれらのおのおのが共同して有機的な関係でやらなければ実現できないものなどがでてくるものと思えます。だから、これが完全に実現するためには、そのどれが欠けても困難であるわけです。

これらの足並みをそろえるためには、まず地域の人たちが打って一丸となり、自らの問題として積極的に努力することが必要であると思えます。個人で努力すべき問題までも、役場に期待しようとする風潮があり関係機関に依存する他力本願的な考えでは、ほんとうに住みよい郷土の実現はほど遠いことといえましょう。もちろん、いまの世の中の機構では、個人や部落の力だけで生活環境の改善などが可能だとは考えません。町や各関係の機関が分担しなければどうしても不可能な問題もあります。しかし、まず個人や部落が積極的に努力を尽し、さらに各機関が有機的に熱意を持って取り組んでゆくという協力的態度を整えることが先決であります。他力本願で、労せずして、目的達成をむくむ考えかたこそ、問題解決を阻むものがあると言えらるのではないのでしょうか。

自らの力で解決すべく、積極的な行動が行なわれたとするならば、ただ要望するだけでむだな集まりだなどというばやきもなくなるでしょう。さらに、前年の結論についても、実践を通しての反省事項が話題となるような研究集会が開催されるではありませんか。ともあれ、一日も早くすばらしい郷土が皆さんとともに努力で実現させたいものです。

恒例の出初式盛大に行なう

優良消防団員や協力者に感謝状

一月十日、恒例の八郷町消防団の出初式が八郷公民館グラウンドを会場にして盛大に開かれました。出初式には、消防団長ほか八七一名が参加、災害から町民を守ろうとする、その意気と規律正しさを示しました。午前九時までは、新しい制服に身をかためた団員がグラウンドに集合、消防団



分団ごとに服装点検をする町長

長の方令で開会した。この日は、町長が消防団員になって団員の服装点検や機械器具に異常がないかどうかを点検した。また、操法競技大会で優勝したチームの模範操法があったあと、整然とした分列行進がグラウンドいっぱいひろろされた。このあと果知事表彰の伝達や消防協力者などに対して町長から感謝状などがおこられた。そして、来賓から祝辞があったあと、長期において、いっせい放水試験があつて出初式を終った。

なお、果知事や町長からの感謝状贈呈者の名前は次のとおりです。

活躍が期待される 新教育委員の横顔



桜井 徳行 氏
住所 大字小幡下宿
職業は、特定郵便局長
これまでに、中学校PTA副会長、八郷養菊会の世話役などをしました。



田山 明 氏
住所 大字東成井鶴沼
職業は農業
これまでに、農業委員、区長会副会長などをしてきました。

訴訟、おどし、交通事故など犯罪の被害にあつて、警察や検察庁に訴えられたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうもなつとくができない。こんな不満をもつて



検察審査会の委員に 大塚の富田さん選ばれる

富田たまきさん(38)が選ばれました。これらの審査委員には、選挙人名簿をもとにして、くじで選ばれた民間人の代表者(一人)があつています。富田さんは、このうちの一人に選ばれたのです。

仕事としては、検察官のした不起訴処分がよしあしを審査するのが、おもな仕事の一つです。そのために検察官のつくつた不記訴訟記録を調べたり、必要に応じて証人と呼んだり、場合によっては実地見分などもし

二分団第四部
消防団長からの表彰状
久保田芳(本部付)、岡

崎和雄(第七分団)

- 水瀬作一、仲沢敏光、国谷満
- ▽第六分団(團部)
熊岡米蔵、成田夫己甫、成田靖、伊勢山幸男、倉田実、伊藤一男
- ▽第七分団(林)
菊地猛、小野瀬万蔵、益子昇、桜井利弘、河合章、市塚雄一、萩原守之
- ▽第八分団(小核)
島田忠夫、関茂利、石塚正賢、鈴木梅太郎、上林一雄、松延義雄
- 茨城県消防協会会長からの感謝状
舟橋保、平行泰(以上本部付)、吉田広司、細谷恵一(以上第一分団)、込山一夫(第二分団)、倉持重男(第七分団)、谷島博久、岡野和男、中島政雄、桜井義明(以上第五分団)、第一分団第一部
- 町長からの感謝状並びに表彰状
塚田惣吾(柿岡)、吉田将克(柿岡)、川井たき(柿岡)、植植徹(小見)、小野瀬克一(下林)、関勝男(猪内)、関馨(猪内)、鈴木豊(部原)、加藤勝一(第一分団)、第一分団第四部、第二分団第一部、第四部



俳句

ちゃんちゃん成りぬ端切ばかりにて 大塚 友部ゆき江
尾に掃いて犬も初日を拜むかに 小見 高野 曉風
益梅の匂ひひそかに初日記 上曾 岡野 孝男
石垣に日射しあまねく冬蔭 上曾 岡野 芳水
一斉の放水に虹出初式 選者 詠

短歌

雪の原越えて聞こゆるかつて吾が勤めし学校の朝の訓示が 瓦谷 増子 久子
流し場の残飯を食む子雀は愛しきもか吾れの近くに 瓦谷 鈴木 幸子
初春の日射しの中に拓けゆく圃場整備のブル音高し 青田 田上 岳尾
アパートの友と宿りて故郷の幼き語る思い出つぎぬ 月岡 山口 元浩

俚謡

可愛い末子も嫁いた初春の老いに嬉しい屠蘇の味 小見 高野 曉風
霊峰筑波に初日が光り希望明るい八郷町 上青柳 海東 望雲
人と成る日の誓も新らた八郷男女の鹿島立 宇治会 田島多加志
郷は達者で十五の春を榮えて羽ばたく西の年 選者 詠

くらしのそと

「ネズミ」退治に
冬がいちばん

暑いときには近くの土の中で生活していた家ネズミが、寒さのきびしい冬には暖かい人家に集まってきていたすらをします。冬はネズミ退治をするよい時期です。ネズミは人口のおよそ三倍いるといわれています。そしてネズミが食べる量は、米にして全国では一年間に百万トン以上といわれます。それはかなりか、ネズミはご存知のように赤痢やチブス、ペストなどの伝染病を伝染するおそろしい役割もはたしています。さてネズミ退治ですがなかなかいろいろな動物で、毒餌にしても、わなににしても、気づかないようにしかけることがかんじんです。ネズミは遠近感や、左右の区別がよくわかり、餌のある所へは最短距離で走ってゆくものです。そして一度おぼえた通路は、半年たっても忘れないうほど記憶がよいというのです。毒餌で退治するときも、こんよくしかけて、絶滅するようにしないとまたいつのまにか増えてしまいます。

食事で肌あれ防止
冬は肌あれが目立ちます。肌あれを防ぐには化粧品より食事のほうがたいてつです。脂肪分をたっぷりとり、ネギ、キャベツ、ホーレン草、ニンジンなどをたくさんとりましょう。